

◆社会的理解Ⅱ (30 時間)

【 到達目標 】

- ・ 家族、地域、社会との関連から、生活と福祉を捉えることができる。
- ・ 社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を修得している。
- ・ 障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。
- ・ 成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解している。

【 学習内容及び習得すべきポイント 】

- 家庭生活の基本機能である家庭・家族・世帯といった言葉の意味をそれぞれ理解する。
- 地域社会、コミュニティ、アソシエーションの概念の理解、地域社会の変遷、地域社会の問題点や課題について学ぶ。
- 集団の組織の概念と、集団と組織における人間関係と役割について学ぶ。
- ライフスタイル、ライフコース、ライフサイクルの変化について学ぶ。
- 社会保障の役割と意義、目的と機能、範囲と対象、現在のこの制度の体制について学ぶ。
- 年金保険、医療保険、後期高齢者医療制度、雇用保険、労働者災害補償保険、社会扶助の概要、公的扶助、社会手当、社会福祉とそれに関する法律について学ぶ。
- 障害者自立支援法の制定とねらい、障害者福祉サービスの種類と内容、障害福祉サービス利用の流れについて学ぶ。
- 自立支援給付と利用者負担について学ぶ。
- 障害者自立支援制度における事業者と施設、国・都道府県・市町村の基本的役割、指定事業者の役割、その他の機関について学ぶ。
- ライフサイクルから見た支援機関や組織について学ぶ。
- サービスの利用にかかわる諸制度、虐待防止の諸制度、人々の権利を擁護するその他の諸制度、保健医療にかかわる諸制度、医療にかかわる諸制度、住生活を支援する諸制度などについて学ぶ。

◆介護の基本Ⅱ (20 時間)

【 到達目標 】

- ・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。
- ・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。
- ・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。
- ・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。

【 学習内容及び習得すべきポイント 】

- 「その人らしさ」を大切に支える介護サービスについて理解し、高齢者・障害のある人・介護を必要とする人の支援の実際について学ぶ。
- 様々な関連職種について理解し、多職種連携の意義と目的について学ぶ。
- 地域連携について学ぶ。
- 介護場面での事故を回避し、安全な介護を提供するための様々な場面での対策を学ぶ。
- リスクマネジメントの実際について理解する。
特に、感染管理、感染対策、発生時の対応などについて、感染症の種類を踏まえて学ぶ。
- 介護職の健康管理の意義と目的を明確にし、健康管理に必要な知識と技術を学ぶ。
- 安心して働ける環境を作るための法律についても学ぶ。

◆コミュニケーション技術 (20 時間)

【 到達目標 】

- ・利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。
- ・援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。
- ・利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。
- ・状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。

【 学習内容及び習得すべきポイント 】

- 傾聴について理解し、利用者と円滑にコミュニケーションをとるための様々な技法について学ぶ。
- 共感を体感する。(ロールプレイ)
- 個別援助の実践原則として、バイステックの 7 原則について学び理解する。
- コミュニケーション障害のある利用者への対応時に必要な技法を学ぶ。
- 高次脳機能障害、失語症、構音障害、認知症等の具体的なコミュニケーション障害を持った利用者の事例を参考に、ビデオ等を活用して障害の特性を理解すると共に、そり特性に対応したコミュニケーション技術を学ぶ。
- チームコミュニケーションの重要性と方法について学ぶ。
- 記録の意義と目的、種類、書き方の留意点と保護管理について学ぶ。
- 報告、連絡、相談、会議の重要性や留意点などについて学ぶ。

【教育内容における留意点】

「紙上演習(プロセスレコード等)」等を行うことにより、生徒が自身のコミュニケーション技術を客観視し、検証できるような内容を含む。

◆発達と老化の理解Ⅰ (10 時間)

【 到達目標 】

- ・老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。
- ・老化に伴う身体的機能の変化と日常生活への影響を理解している。

【 学習内容及び習得すべきポイント 】

- 老化が及ぼす心理的影響、老化による身体的機能との心理的機能について学ぶ。
- 高齢者を取り巻く社会的環境も心理や行動に影響していることを理解し、援助者として受容共感することを学ぶ。生活の質を評価する指標である QOL の考え方を理解する。
- 老年期の適応課題とパーソナリティについてその理論を学ぶ。
- 加齢に伴う身体機能と日常生活への影響について理解する。
- 具体的な機能の変化を確認し、それにより日常生活がどのように変化するのかを理解する。

◆発達と老化の理解Ⅱ (20 時間)

【 到達目標 】

- ・発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。
- ・老年期の発達課題、心理的な課題(老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等)と支援の留意点について理解している。
- ・高齢者に多い症状、疾病等と支援の留意点について理解している。

【 学習内容及び習得すべきポイント 】

- 人間の発達について理解し、生理的発達、心理的発達について学ぶ。
- 一般的な発達区分と介護職として関わる利用者の発達段階の意味の違いを理解する。
- エリクソン、ピアジェ、フロイトなどの代表的な発達段階説を学び、理解する。
- 老年期の人格(人格と尊厳)を理解する。
- 老いの喪失体験を価値転換する心理変化を把握する、老年期のセクシャリティの影響を理解する、サクセスフル・エイジングと老年期を学ぶといったことにより、人格と尊厳を主軸にする介護を提供することを目指す。
- 高齢者に多くみられる症状・訴えとその留意点を学ぶ。それぞれの症状から推測できる可能性のある疾病について結びつけて学ぶ。
- 介護の必要な高齢者に多くみられる病気・病態について学ぶ。生活習慣病、運動系、知覚系、呼吸器系、腎・泌尿器系、消化器系、循環器系、脳・神経・精神系、感染症などに分けて、病気と特徴、介護者が知っておくべき点について学ぶ。

◆認知症の理解Ⅱ (20 時間)

【 到達目標 】

- ・ 代表的な認知症(若年性認知症を含む)の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。
- ・ 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況を理解している。
- ・ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。

【 学習内容及び習得すべきポイント 】

- 脳の構造やしくみについて理解し、老化による脳の変化を理解する。
- 認知症とは何かを学び理解する。
- 認知症の診断について学ぶ。
- 認知症の原因疾患と治療について学ぶ。
- 初期・中期の認知症の利用者の事例を通して、状況に合わせた支援を考える。
後期の認知症の理容師やの事例を通して、状況に合わせた事例を考える。
- 家族へのレスパイトケアやエンパワメントについて理解し、家族を含めたサポート体制について学ぶ。

◆障害の理解Ⅱ (20 時間)

【 到達目標 】

- ・ さまざまな障害の種類・原因・特性・障害に伴う機能の変化などについての医学的知識を修得している。
- ・ 障害児・者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。
- ・ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。

【 学習内容及び習得すべきポイント 】

- 視覚障害、聴覚・言語障害、運動機能障害、心臓機能障害、腎機能障害、呼吸機能障害、膀胱・直腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝機能障害、知的障害、精神障害、発達障害、難病について、それぞれの基礎的知識や障害の原因・特性・変化などについて学ぶ。
- 障害のある人の生活ニーズを理解する。

○障害のある人の家族の理解と地域におけるサポート体制、フォーマル・インフォーマル支援の活用を知る。

◆こころとからだのしくみⅡ (60 時間)

【 到達目標 】

- ・人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を修得している。
- ・生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得している。
- ・介護に関係したからだの仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。

【 学習内容及び習得すべきポイント 】

- 人間の欲求、記憶や感情、意欲や動機づけ、適応のしくみ等について学ぶ。
- 生命維持、恒常のしくみ、体温、呼吸、脈拍、血圧などのチェック項目について学ぶ。
- 人体について、各部名称を学ぶ。
骨格、関節、筋肉、神経、視覚、聴覚、嗅覚、皮膚感覚、呼吸器、消化器などの構造や役割等について学ぶ。
- 観察のポイントと、医療職との連携について学ぶ。
- 利用者の変化に気づくためのポイント。誤嚥や窒息等の緊急性を伴う異常な状態について学ぶ。
- 医療職との連携のポイントについて学ぶ。
- 入浴による身体機能の変化について学び、疾病を持つ利用者が入浴するとくに注意するポイントについて、具体的に学ぶ。
- 排泄に関して注意するポイントと、医療職との連携について学ぶ。
- それぞれの変化を捉える観察のポイントと、医療職との連携について学ぶ。
- 睡眠の役割や睡眠のしくみ、加齢や疾病等、睡眠障害の原因になる疾病を学ぶ。
- 終末期の身体機能の特徴、医療職との連携ポイントについて学ぶ。